

視覚性障害者移動介護従業者

教科名目的内容		
I 講義 1 1 時間		
1 障がい者福祉に係る制度及びサービスに関する講義（3 時間）		
1. 障害者総合支援制度とサービス（2 時間）	障害者自立支援制度とサービスの種類、内容、役割を理解する	・障がい者（児）福祉の背景と動向・障害者自立支援制度とサービスの種類、内容とその役割
2. 移動介護の制度と業務（1 時間）	移動介護の制度と業務を理解する	・移動介護の制度・移動介護従業者の業務
2 身体障がい者居宅介護等に関する講義（3 時間）		
3. 居宅介護概論（2 時間）	居宅介護の役割と業務を理解する	・居宅介護の社会的役割・居宅介護の制度と現状・居宅介護業務の基本・関連機関との連携
4. 居宅介護従業者の職業倫理（1 時間）	居宅介護に従事する際の職業倫理について理解する	・福祉業務従事者としての倫理・居宅介護においてとるべき基本的態度
3 視覚障がい者の疾病、障害等に関する講義（2 時間）		
5. 疾病、障害の理解（2 時間）	業務において直面する頻度の高い疾病、障害を医学的、実践的視点で理解するとともに、援助の基本的な方向性を把握する	・視覚障がい者数・視覚障害についての理解・視覚障害の原因疾病・症状・治療・見えの構造・移動介助の際の留意点
4 基本的な移動の介護に係る技術に関する講義（2 時間）		
6. 移動介助の基礎知識（2 時間）	移動介助の目的と機能を理解し、基本原則を把握する	・視覚障がい者への接し方・視覚障がい者の社会参加・視覚障がい者の行動技術・言葉による情報提供の基本・移動介助の留意点・歩行に関係ある補装具・用具の知識
5 障がい者の心理に関する講義（1 時間）		
7. 障がい者（児）の心理（1 時間）	心障がい者（児）の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する	・先天性障害と中途障害 ・障がい者の心理と人間関係
II 演習 9 時間		
1 移動の介護に係る技術に関する演習（9 時間）		
1. 移動介助の基本技術（2 時間）	疑似体験をしつつ、基本的な移動介助の技術を習得する	・基本姿勢・危険な移動介助・基本姿勢の変形・狭い場所の通り抜け・方向転換（1）・方向転換（2）・サイド（左右）の位置交代・押しドアの通行・引きドアの通行・引き戸の通行・背あてのある椅子への着席・背あてのない椅子への着席・移動介助中一時的に移動介護従業者と視覚障がい者が離れる場合
2. 屋内の移動介助（2 時間）	疑似体験をしつつ、屋内での移動介助方法を習得する	・階段を上る方法・階段を下る方法・手すりを使って視覚障がい者が自分で階段を下りる方法・白杖を持っている場合の基本姿勢・白杖を持っている場合に階段を上る方法・白杖を持っている場合に階段を下る方法・トイレの利用・テーブルオリエンテーション
3. 屋外の移動介助（4 時間）	疑似体験をしつつ、屋外での移動介助方法を習得する	・屋外歩行の心がけ・エスカレーターを上る方法・エスカレーターを下る方法・自動車に乗り込む方法・自動車から降りる方法・駅の改札・電車に乗る方法・電車から降りる方法・バスに乗る方法・バスから降りる方法
4. 応用技能（1 時間）	複数の視覚障がい者をガイドする場合などの応用技能を習得するとともに、移動介護従業者としての全体像を把握する	・ラセン階段や不規則な階段の昇降・雨の日の移動・混雑した場所での移動介助